北神野菜情報　10月号

北神営農振興会巡回日　　平成２２年１０月１９日（火）
巡回地区　道場・大沢・長尾・上淡河

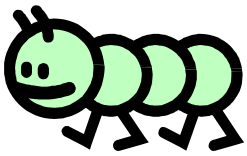
圃場巡回報告

◎今回の巡回でこれらの病害虫が確認されました。

品目	病害虫	発生数	薬剤名	希釈倍率 使用量	使用時期	本剤の使用回数(以内)
はくさい	べと病	少	アミスター20フロアブル	2,000 倍　100～400L/10a	7 日前まで	4 回以内
	キスジノミハムシ成虫	少	ディプテレックス乳剤	1,000 倍		5 回以内
	アブラムシ類	多	スタークル顆粒水溶剤	2,000～3,000 倍　100～300L/10a	3 日前まで	2 回以内
だいこん	アブラムシ類	多		3,000 倍　100～300L/10a	7 日前まで	
	キスジノミハムシ成虫	多	ディプテレックス乳剤	1,000 倍	14 日前まで	6 回以内
	ハモグリバエ	少	マラソン乳剤			
なす	うどんこ病	中	アミスター20フロアブル	2,000 倍　100～400L/10a	前日まで	4 回以内
	アザミウマ類	少	アファーム乳剤	2,000 倍　100～300L/10a		2 回以内
きゅうり	べと病	多	アミスター20フロアブル	1,500～2,000 倍　100～400L/10a		4 回以内
ブロッコリー	コナガ	少	アファーム乳剤	1,000～2,000 倍　100～300L/10a	7 日前まで	3 回以内
	ヨトウムシ	多				
	アオムシ	中				
キャベツ	コナガ	少				
ほうれんそう	ハスモンヨトウ	少		2,000 倍　100～300L/10a	3 日前まで	2 回以内
	べと病	中	ランマンフロアブル			3 回以内
ねぎ	アザミウマ類	少	スタークル顆粒水溶剤			2 回以内
しゅんぎく	マメハモグリバエ	少	アファーム乳剤		7 日前まで	
水菜	ハモグリバエ類	少		1,000～2,000 倍　100～300L/10a		3 回以内
	アオムシ	少				

※薬剤の使用についてはラベル表示を確認のうえ、記載内容以外の使用はしないで下さい。

鱗翅目害虫の食害に注意してください！



秋野菜の生育は全体的に順調ですが、ヨトウムシ類やコナガなどの鱗翅目害虫が確認されました。アブラナ科野菜については結球初期から中期を迎えており、結球が進むにつれて害虫の防除（特に鱗翅目害虫）が困難になるので、結球初期の防除に努めてください。１１月に入るとアブラナ科野菜の収穫時期になります。収穫前日数に注意し薬剤防除を行ってください。

アブラムシ類に注意！

↑地際近くの葉裏に多く発生する。

今回の調査でハクサイやだいこんなどのアブラナ科野菜で多くの発生が確認されました。アブラムシは地際近くの葉裏にたくさん群がっていることが多く、葉の汁を吸い、葉が黄色くなり、葉が枯れることもあります。汁を吸う時にウイルス病を移します。ウイルス病にかかると葉の色がまだらに白く抜けたり、葉が萎縮します。

また卵をうまずに直接幼虫を産むことができ、短期間で猛烈に増えることもあるので、少しでも圃場内で発見したらこまめに防除されることをお勧めします。

はくさいのべと病の発生に注意してください！

べと病は日中の気温が 24℃以下、夜間が 8℃～16℃と比較的冷涼で多湿条件で発生いたしますので、雨の前にＺ－ボルドーでべと病の予防を行いましょう。また病気が発生した場合は罹病残さを圃場に放置せず、アミスター２０フロアブルなどの治療剤で徹底防除しましょう。

また降雨に備えて排水の整備や、溝の掃除を定期的に行ってください。

予防剤として

推奨薬剤：Ｚボルドー　希釈倍率：５００倍

治療剤として

推奨薬剤：アミスター２０フロアブル　希釈倍率：2000 倍

使用時期：７日前まで　総使用回数：４回以内

気象情報　近畿地方 1 か月予報（予報期間 10 月 16 日から 11 月 15 日）

平成 22 年 10 月 15 日大阪管区気象台 発表

天気は、数日の周期で変わるでしょう。向こう 1 か月の平均気温は、高い確率が 50%です。

週別の気温は、1 週目は、高い確率が 50%です。2 週目は、高い確率が 50%です。3～4 週目は、平年並または高い確率ともに 40%です

＊お問合せ先＊　ＪＡ兵庫六甲　神戸北営農総合センター

ＴＥＬ：０７８－９８１－５５４０　ＦＡＸ：０７８－９８１－５８１７